

## 第5学年 国語科指導案

### 1 単元名 日常を十七音で

～なんだろう なんだろう 俳句のおもしろさってなんだろう～

### 2 単元目標

○俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。

(思考力、判断力、表現力等 B (1) オ 推敲)

○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

(知識及び技能 (1) ク 言葉の特徴や使い方に関する事項)

○構成や書き表し方に着目して、文言を整え、課題に沿って粘り強く俳句を作ろうとしている。

(学びに向かう力、人間性)

### 3 評価規準

| 知識・技能                          | 思考・判断・表現                                            | 主体的に学習に取り組む態度                                 |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| ①比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ((1) ク) | ①「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方に着目して、俳句を整えている。<br>(B (1) オ) | ① 粘り強く、構成や書き表し方に着目して、文言を整え、課題に沿って俳句を作ろうとしている。 |

### 4 単元について

#### (1) 本単元で扱う言語活動について

本単元は、日常生活に取材をして経験したことや想像したことをもとに「俳句を作る」という言語活動を位置づけている。五・七・五の十七音で、感動を表現するために、基本から表現技法まで順を追って学習できるように構成されている。

身近な情景や生活の中での出来事をとらえて、俳句の特徴を生かした創作を行うことによって、言葉の調子やリズムに親しみ、凝縮した表現で伝わる面白さや楽しさを味わわせたい。

俳句は、経験したことや想像したことを「五七五」の十七音で表し、短い句の中に季語や効果的な技法を用い、心情や情景を表現していく。一句が短いことから取り組みやすいが、自分の思いを短い言葉でまとめるために、適切な言葉を選ぶ力や表現の工夫をする力が求められる。「俳句のおもしろさ」である、直接的な言葉がなくても言葉の力で思いが伝わること、情景が思い浮かぶことを楽しみながら創作させていきたい。そこで、単元の学習に入る前から俳句の多読をし、たくさんの俳句に出会わせる。その中から、リズムが良い俳句、季節ごとの俳句、思いや情景がよくわかる俳句を集めたり、俳句に使われた言葉の表現する解釈を確認したりして俳句に馴れ親しんでおく。また、クラス全員で一つの題材を試作する、俳句の一部分を創作する、友達と協力してマッピングで言葉を増やして創作するなど「作れそう」という気持ちを持たせながら取り組みたい。

本時では、前時までに学習してきたこともとに、自分の三文日記から伝えたいことを選び、表現を工夫して俳句を作る。十七音という短い言葉の中に自分の思いを伝えるための言葉や表現の工夫を考えて創

作させる。また、できた俳句を読み合い、友達の俳句のよいところを見つけたり、整えたりする。そうすることで、自分一人では気付かなかったよさや、言葉の使い方や意味に気付くだろう。十七音で表現した自分の思いが伝わることや友達の思いが読み取れる楽しさを味わわせたい。

## （２） 本単元で身に付けさせたい力

### （身につけさせたい力について）

本単元は、学習指導要領「B 書くこと」の指導事項である「オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること」との資質・能力育成を目指す。

俳句の面白さを理解し、自分の感じたことや想像したことを俳句に表す力、言葉にこだわり、言葉を入れかえたり書き換えたりして俳句を整える力を身につけさせたい。

### （手立てについて）

#### ○俳句に表し、俳句を整える工夫

「俳句に表してみたい。」と思うにはまず、テーマになりそうな材料を集め、自分の心を表現できそうなものを探ることが大切である。特別なものを見つけなくても、学校での出来事や友達と話したことから心に残っていることを三文日記として残させる。

次に三文日記の中からテーマを決めて、くわしい文にしてみる。文の中から季語を選んだり、言葉を取り出したりして、五音七音五音の十七音にまとめる。そしてできた俳句を整えていく。この手順にそって考えさせ、十七音という限られた言葉の中で思いや情景が伝わる言葉を選び、学習した表現方法を使うという目的を明確にした俳句作りをさせたい。そのため、まずたくさんの俳句を読んで、俳句のイメージを持つ。直接表現を違う言葉への書きかえや、穴埋め式での俳句の創作、上五音と下五音を入れ替える、切れ字を使うなど俳句の整え方を学習させる。歳時記カルタ遊びや季語の掲示物もヒントにして「作りたい、作れそう」という気持ちを高めながら取り組ませたい。書き出せない児童には、お題を用意したり、言葉を選ばせたりして俳句を創作させていきたい。

#### ○整えポイントの活用

学習したことをもとに児童とともに、俳句の整えポイントをまとめる。整えポイントがあることで俳句を整える際はどんな俳句にしたらよいのか、俳句の多読や友達の作品を読むときにはどんな工夫を見ればよいのか、話し合えばよいのかが明確になりよりよい俳句が創作できると考える。

- ・ 情景にあった季語を見つける。（本やギガタブを使う）
- ・ 同じ意味はないか。（菜の花たくさん咲いている→花が咲くのは書かなくてもわかる→菜の花たくさん楽しそう）
- ・ 言葉を変えて表現できないか。（うれしいな→春うらら      キラキラ→ギラギラ   ）
- ・ 上と下の五音を入れかえて、読み比べてみる。（伝えたいことをはっきりさせる）
- ・ オノマトペ（鳴き声→りりりりりり）

## ○ICT の活用

できた作品はより多くの友達の意見が聞けるよう ICT を活用する。各自が作った俳句を累積したり、友達同士の俳句を自由に鑑賞できたりするようにする。多くの作品を読むことは、書き表せない児童の手助けになり、また早くできた児童は友達の作品に触れることができ、よりよい創作ができると考える。

### (3) (1) (2) の基盤となる言語環境や継続的な取組

#### ○日常 三文日記

俳句の題材になるように、生活の中で気付いたことや驚いたことを短い文章で書き留め、書き溜めておく。「楽しかった。」「うれしかった。」の感想だけでなく、自分が見聞きした事実を具体的に書くと、あとで俳句にしやすいことを指導する。この三文日記が俳句のテーマとなりとても重要である。

三文ほどの短い日記なので簡単に取り組むことができる。日常の何気ない出来事や季節の移り変わりに目を向け心に留め、感じる心を育てたい。俳句を作るという目的意識のもと取材をすることでより児童自身のものの見方や感じ方、考え方、言葉への感性を養うことにつながらせたい。

#### ○俳句の多読 音読

俳句の本の並行読書や毎日取り組んでいる俳句の音読から俳句の美しいリズムや響きに親しむ。リズムが良い俳句、季節ごとの俳句、思いや情景がよくわかる俳句など読むポイントを決め、俳句を集める。読みのポイントにあった俳句を探しながら読むことでたくさんの俳句を主体的に読むだろう。

また、松尾芭蕉や小林一茶、与謝蕪村などの俳句だけでなく、同世代の子どもたちが身近な自然や物事をとらえた俳句もたくさん読ませたい。「子どもでもこんな作品が作れる」「こんな風に作ればよい」と感じさせることにより、「作ってみたい」という創作意欲が高まるだろう。

また、教師が用意した見本を読み、その中から比喻や擬人化を見つけたり、季語に込められる季節の意味だけでない心情や情景を考えたりする活動を行い、表現の工夫を身につけさせていきたい。

#### ○語彙を増やす

俳句の創作では「楽しかった」「うれしかった」などという直接表現は使わないで言葉を選ばせたい。そのためには気持ちを別の言葉で言い換えるための語彙が必要である。「～したときの気持ち」を表す言葉を探す活動を行う。(例 病気の後オリンピック代表を勝ち取った時の池江里佳子選手の気持ちなど) 自分のことではなくても、その時のその人の気持ちを具体的に考えられるよう ICT を効果的に使いたい。詳しく想像できると「うれしい」だけでなくいろいろな表現に言い換えながら、様々な語彙を身に付けられるだろう。

また、俳句に使える言葉や季語を一人一人が集めて合体させ、歳時記を作り掲示する。友達が集めた季語は本で調べるものより身近に感じ使いやすいただろう。俳句をつくるという目的のもと、言葉や意味をしらべることで、言葉への関心を高めたり語彙を増やしたりすることができると考える。

## 5 単元計画（全5時間）

| 次   | 時  | 学習活動                                                                                                                                                            |                        | ○指導や支援の手立て<br>◇評価方法（方法）                                                                                                              |
|-----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 課外 | ○学習前の自分の俳句を書く。<br>○俳句を音読して、俳句に親しむ。<br>○教室にある俳句の本や同世代の作った俳句を読む。<br>○三文日記に俳句の材料を書き留める。<br>○言葉の言い換えを集めたり季語を集めたりする。                                                 | 並行読書<br>俳句の音読<br>俳句集作り | ○児童の「作りたい、作れそう」を引き出すために、並行読書や音読、言葉を集める活動を行う。<br>○同世代の作品を読み、俳句へのイメージをもつ。<br>○俳句の作り方は指導せず、「よい俳句とはどんな俳句だろう」と課題が持てるようにする。                |
| 第1次 | 1  | ○p 60の二つの俳句を読み、俳句作りへの意欲をもつ。<br>○俳句のおもしろさと俳句のルールを知る。<br><div> ・直接表現がなくても情景や気持ちが思い浮かぶ<br/> ・音数の数え方 ・季語<br/> ・七音の部分を空欄にして、言葉を当てはめたり、言葉の差し替えをしたりしながら俳句を創作する。 </div> |                        | ○学習計画をもとに、「表現を工夫して俳句をつくる」という見通しをもつことができる。<br>○俳句をおもしろさや俳句を創作するときのルールをおさえる。<br>◇表現を工夫して俳句を創作して整えることについて学習の見通しをもち、意欲をもっている。【態度】（観察・発言） |
|     | 2  | ○教師が提示した俳句の中から優れた表現方法を見つけ、整えポイントをまとめる。<br><div> ・季語 ・同じ意味の言葉はないか。<br/> ・言葉を変えて表現できないか。<br/> ・言葉を入れ替えてみる。<br/> ・オノマトペ ・言葉の書き方 </div>                             |                        | ○俳句を整えるときの表現方法をおさえる。<br>○言葉を変えたり、言葉を入れ替えたり、オノマトペや言葉の書き方などの表現方法を使って俳句を整える。<br>◇言葉の入れ替えやオノマトペなど表現の工夫に気付いている。【知・技】（記述・発言）               |
| 第2次 | 3  | ○学習前に作った、自分の俳句を整える。<br>○創作した俳句を交流して、感想を伝え合う。                                                                                                                    |                        | ○直接表現を差し替えたり、技法を使ったりして俳句を整えさせる。<br>○技法のみでなく、その技法を使った句の印象や効果についても考えさせる。<br>◇俳句の構成や書き表し方に着目して、俳句を整えている。【思・判・表】（記述）                     |

|         |             |                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                     |
|---------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 4<br>本<br>時 | <p>○三文日記の中からテーマを選んで俳句を作る。</p> <p>・できた俳句の語感や言葉の使い方、表現技法を意識して表現を工夫し整えることができる。</p> <p>○創作した俳句をトリオで読みあい、感想や工夫したところを伝えあう。</p> | <p>○創作のポイントや表現方法を振り返りながら思いがより伝わるように俳句を創作する。</p> <p>○読みあうときは、整えポイントを活用して、表現の工夫を見つける。</p> <p>◇目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p><b>【思・判・表】</b>（記述・発言）</p> |
| 第3<br>次 | 5           | <p>○句会を開き、表現の工夫や感想を伝え合うことで、互いの句のよいところを見つける。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>                                                      | <p>○表現を工夫することは俳句だけでなく短い文章で何かを伝えるときに役立つことを伝える。</p> <p>◇感想を伝え合うことを通して、相手の句や自分の句のよいところを見つけようとしている。<b>【思・判・表】</b>（発言・記述）</p>                                                            |

## 6 本時の学習

### (1) 本時の目標

俳句を作り、語感や言葉の使い方を意識して表現を工夫し、整えることができる。

(思考力・判断力・表現力等 B (1) オ 推敲)

### 本時の展開 (4/5)

| 時間   | 学習活動と内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 指導や支援の手立て (◇は評価)                                                                                                                                                                                                                              |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 分  | <p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳句のおもしろさ</li> <li>・ 俳句を創作するルール</li> <li>・ 整えポイント</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>表現を工夫して俳句を整えよう。</p> </div>                                                                                                                                                                                 | <p>○教師の見本や児童の作品をいくつか提示し、俳句のイメージをもたせやすくする。</p>                                                                                                                                                                                                 |
| 20 分 | <p>3 三文日記をもとに、俳句にしたいテーマを決めて書いた作文の中から言葉を取り出して俳句にする。</p> <p>(テーマ) 畑</p> <p>(作文) 五月に花壇にみんなで花の種と苗を植えました。ひまわりや百日草など夏に咲く花を植えました。咲いたら全校のみんなに見せたいです。背の低いひまわりなので教室にかざれるといいです。</p> <p>(季語) 春</p> <p>(俳句) 春の日に ひまわり咲いたら 見せたいな</p> <p>4 整えポイントを使って俳句を整える</p> <p>(整えポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちにあった季語を見つける。</li> <li>・ 同じ意味はないか。</li> <li>・ 言葉を変えて表現できないか。</li> <li>・ 上と下の五音を入れかえて、読み比べてみる。</li> <li>・ オノマトペ</li> <li>・ ひらがな カタカナ 漢字</li> </ul> | <p>○書いた作文の中や掲示物、歳時記を、ギガタブの季語一覧を使って季語を選ばせる。</p> <p>○作文の中から伝えたいことの手言葉を取り出して、五・七・五の十七音にする。</p> <p>○整えポイントを使って自分の思いがより伝わるよう、表現の工夫をする。</p> <p>○途中、お互いに見せ合いアドバイスタイムを設け、より思いが伝わるように友達の俳句の手言葉を考える。</p> <p>○俳句が完成したら、俳句に込めた思いとどんな工夫をしたかをワークシートに書く。</p> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                            |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>5 トリオで見せ合い、お互いにアドバイスをする。<br/>(完成) 五月晴れ 花開いたら おすそわけ</p>                                                                                                                                                                                                 | <p>○書き終わった児童は、声に出して読んだり発表ノートに送り他の友達の作品を読んだりする。<br/>◇俳句を作り、表現を工夫して整えることができたか。<br/>(俳句)</p>                  |
| 15 分 | <p>6 トリオで俳句を読み合い、感想を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の俳句を読む。</li> <li>・俳句に込めた思いと言葉や表現の工夫を伝える。</li> <li>・作品を聞いて感じたことや工夫されているところを伝え合う。</li> <li>・見せたいをおすそわけにして直接表現がなくても伝わります。</li> <li>・季語が晴れだけだとどの季節かわからないので五月晴れにしていきたいと思います。</li> </ul> | <p>○トリオで俳句を読みあい、言葉や表現の工夫を伝え合う。<br/>○できていない児童には迷っているところを助言してもらう。<br/>◇友だちの俳句の作品のよさを見付け伝え合っている。<br/>(観察)</p> |
| 5 分  | <p>7 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俳句を作り、整えることができたか。</li> <li>・17音で自分の思いを伝えられるように、言葉を考えることができたか。</li> </ul>                                                                                                                     | <p>○次時は句会をすることを確認する。<br/>○作品のよさを伝え合うことがさらに良い作品づくりにつながることを確認する。</p>                                         |